

第1回
竹原市空き家等対策協議会
議事録（概要版）

日時：令和2年6月18日（木）

15:00～16:00

場所：竹原市人権センター1階 会議室

竹原市建設部都市整備課

○ 次 第

- 1 開 会
- 2 副市長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 議事録の公表
- 6 議 事
 - (1) 竹原市の空き家の現状について
 - (2) 空き家対策総合支援事業について
 - (3) 特定空家の判定基準について
 - (4) 今後のスケジュールについて
- 7 閉 会

○ 出席者（12名）

北原 勇 委員	杉田 求 委員
平原 幹生 委員	増谷 昌則 委員
大本 淳 委員	三藤 芳輝 委員
藤原 美樹 委員	佐渡 泰 委員
寺迫 和磨 委員	安部 文明 委員
佃 義晴 委員	新谷 昭夫 委員

○ 事務局

影田 建設部長 大田 建設部参事
西吉 都市整備課長

《事務局庶務 都市整備課住宅建築係》

脇 係長 大庭 主任技師
中川 主任技師

1 開会

2 副市長挨拶

3 委員紹介

事務局から委員を紹介

12名全員の出席で本協議会は成立

4 会長及び副会長の選出

藤原委員を会長に選任

新谷委員を副会長に選任

5 議事録の公表

議事録の公表について説明

議論の内容を要約した議事録を協議会の状況写真及び協議会資料とあわせて、ホームページで公表することに決定

6 議事

(1) 竹原市の空き家の現状について

事務局（資料1について説明）

竹原市空き家等対策計画・竹原市空き家等実施計画について説明

(2) 空き家対策総合支援事業について

事務局（資料2について説明）

今年度から実施する空き家対策総合支援事業について説明

(3) 特定空家の判定基準について

事務局（資料3について説明）

特定空家に認定するための判定基準について説明

<質疑応答内容>

（委員）

特定空家の補助申請は、迷惑を被っている側が手続きすることは可能か？

（事務局）

空き家は個人の財産であり、持ち主が手続きすることとなります。所有者・相続人の方が支援制度を利用していただくこととなります。

(委員)

令和2年度のそれぞれの補助金の予算がどのくらいか？

(事務局)

改修が300万円、除却が300万円、家財道具処分50万円

申込状況に応じて追加も検討したい。

(委員)

空き家対策計画は来年度で区切りとなるが、第2期計画を策定する予定はあるか？

(事務局)

来年度で計画期間は終了となるため、計画は更新していきたい。スケジュールは未定であるが、協議会で助言を頂きながら進めます。

(委員)

支援制度の補助額は内容により異なるが、全額が補助となるものなのか？

(事務局)

除却の支援制度は解体費の1/3上限が30万円。家を解体する費用は、一般的に150万円から200万円かかります。30万円を支援することで所有者の動機付けとなるよう働きかけます。

(委員)

長期に空き家になっている建物を、市がチェックして個人に指導することは可能か？

(事務局)

空き家の実態調査で危険な建物を40件把握している。危険度の高い建物から所有者調査を行い取組みます。

(委員)

自治会からの申し出での対応は可能か？

(事務局)

連絡をいただければ、対応します。

(4) 今後のスケジュールについて

事務局(資料4について説明)

今後のスケジュールについて説明

<議事についての質疑応答内容>

(委員)

老朽化した空き家を解体していこうと聞こえてくるが、新しい人にどんどん来ていただいて空き家を使おうという風に聞こえてこない。東広島市では空き家を売却す

るための支援策がある。空き家バンク登録時に相続登記や建物登記がなくても受付している。空き家バンクは空き家を売りたいければ受付し、購入要望があれば、そこから相続登記や未登記建物であれば登記を進めている。これだけでも随分と違う。竹原市の空き家バンクで登録をする場合は、相続登記しないとイケないであった。現実の問題として売れるかわからないのに所有者は費用をかけることができない。
(事務局)

補助制度を利用し空き家の流通をさせていきたい。空き家バンク登録については、担当が別部署であるが、委員からの意見を報告し、連携して空き家対策の取組を行っていきます。

(委員)

空き家バンクへつながらないと対策にならない。

空き家等対策計画を策定されてすでに3年経っていますが、これまで何をされていたのか？この協議会が今になってやろうとしたのはなぜですか？協議会はいままであったか？

(事務局)

協議会はありませんでした。取組はソフト面が多かったため、もっと取組を加速させていきたい。今年度、協議会を設置し専門分野の方からの意見を聞きながら、施策や計画を見直していき、実行性のあるものにしていきたいと考えています。

7 閉会